

令和7年度（2025年度）第5回熊本市学校給食運営協議会会議録（要旨）

1 日 時：令和8年（2026年）3月2日（月）午後3時00分から午後5時00分まで

2 場 所：SPring 熊本花畑町ビル7階会議室（熊本市中央区花畑町9-6）

3 出席委員（敬称略）

秋吉 澄子（議長）、河原さおり、清川 綾乃、古上 理恵、坂本 準、中山 和臣、
廣島 大樹、吉村 美奈子

4 次第

(1) 開会

(2) 健康教育課長挨拶

(3) 議題

議題1 評価の進め方・方法について

議題2 評価について

議題3 令和8年度学校給食について

(4) 閉会

5 会議録

要旨は次のとおり

会議録（要旨）

【議題 1 評価の進め方・方法について】

秋吉議長：これより審議に入る。

議題 1 の 評価の進め方・方法について、説明をお願いします。

事務局：「衛生管理面」「品質面（給食の完成度）」「給食運営面」及び「学校との連携面」について、委員の視察、関係者への聞き取り、資料等をもとに評価をお願いします。

秋吉議長：意見または質問等はないか。なければ、議題 2 にうつる。

【議題 2 評価について】

秋吉議長：議題 2 の評価について、事務局から説明をお願いします。

事務局：総合的な評価の考え方として評価にあたっては、大項目ごとに、総合的な評価として「良好」「標準的」「劣る」の 3 段階での評価をいただく。3 段階評価については、各委員の皆様よりいただいた、小項目ごとの事前評価の平均点数を用いる。5 点満点のうち小項目の平均点数が 4 点以上の場合を「良好」3 点以上 4 点未満を「標準的」3 点未満を「劣る」として、総合的な評価とする方法をご提案する。なお、事前評価の点数について修正が必要な場合は、各項目の審議の際に申し出ていただくようお願いする。

秋吉議長：意見または質問等はないか。なければ、4 つの評価項目とそれに伴う具体的な小項目についての協議に移る。

1 衛生管理面について

（1）施設・設備の衛生管理

事務局：項目に関する説明。

秋吉議長：内容について意見等ないか。

委員：意見なし。

秋吉議長：「施設・設備の衛生管理」について、事前評価の点数に修正なく、5 点満点中 4.2 点とすることに異議はないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：それでは、原案どおり評価点を「4.2 点」とする。

（2）調理作業時の衛生管理

事務局：項目に関する説明。

秋吉議長：内容について意見等ないか。

委員：意見なし。

秋吉議長：「調理作業時の衛生管理」について、事前評価の点数に修正なく、4.4 点とすることに異議はないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：それでは、原案どおり評価点を「4.4点」とする。

（3）調理員の衛生管理

事務局：項目に関する説明。

秋吉議長：内容について意見等ないか。

委員：意見なし。

秋吉議長：「調理員の衛生管理」について、事前評価の点数に修正なく、4.3点とすることに異議はないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：それでは、原案どおり評価点を「4.3点」とする。

【衛生管理面の総合評価】

事務局：項目に関する説明。

秋吉議長：内容について意見等ないか。

中山委員：小項目での文末表現は、「だ。～である。」だが、総合評価の文末表現は、ですます調となっている。統一しなくてよいか。

事務局：従来からこのように記載しているのでこの表現で記載させていただきたい。

河原委員：「野菜カット後の掃除のタイミング」という表記について、切りくずが落ちてその都度拾うのは手も洗わないといけないし、頻繁には難しいのではないか。

吉村委員：大量だと頻繁に拾うのは難しい。

秋吉議長：掃除が遅いとは言えないのではないか。

中山委員：「カット後の掃除が遅い」というのは主観によるので表現として削除したほうがいい。

吉村委員：タイミングといえばそうなので、総合評価の文言はそのままでもいいのではないか。

秋吉議長：それでは、小項目の確認された事例の「カット後の掃除が遅い」は削除し、総合評価の文言についてはそのままということでしょうか。

委員：異議なし。

坂本委員：切りくずはなんの切りくずか。

事務局：野菜の切りくずと思われる。「野菜の切りくずを」を追記する。

秋吉議長：「衛生管理面の総合評価」は、原案どおり「良好」とすることに異議はないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：それでは、原案どおり「良好」と評価する。

2 品質面（給食の完成度）について

（1）食味（おいしさ）

事務局：項目に関する説明。

秋吉議長：内容について意見等はないか。

坂本委員：残食量調査についてR4～R7となっているが、R7の誤りではないか。

事務局：お見込みのとおり。修正する。

秋吉議長：「食味（おいしさ）」について、事前評価の点数に修正なく、4.8点とすることに異議はないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：それでは、原案どおり評価点を「4.8点」とする。

（2）質感（形・大きさ、外観、温度）

事務局：項目に関する説明。

秋吉議長：内容について意見等ないか。

委員：意見なし。

秋吉議長：「質感（形、大きさ、外観、温度）」について、事前評価の点数に修正なく、4.7点とすることに異議はないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：それでは、原案どおり評価点を「4.7点」とする。

【品質面（給食の完成度）の総合評価】

事務局：項目に関する説明。

秋吉議長：内容について意見等ないか。

委員：意見なし。

秋吉議長：「品質面（給食の完成度）の総合評価」は、原案どおり「良好」とすることに異議はないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：それでは、原案どおり「良好」と評価する。

3 給食運営面について

（1）業務の運営体制

事務局：項目に関する説明。

秋吉議長：内容について意見等はないか。

秋吉議長：調理場によって点数にばらつきがある。人員配置がやはり課題。

秋吉議長：「業務の運営体制」について、事前評価の点数に修正なく、3.7点とすることに異議はないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：それでは、原案どおり評価点を「3.7点」とする。

（２）危機管理体制

事務局：項目に関する説明。

秋吉議長：内容について意見等はないか。

委員：意見なし。

秋吉議長：「危機管理体制」について、事前評価の点数に修正なく、3.8点とすることに異議はないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：それでは、原案どおり評価点を「3.8点」とする。

（３）職員研修の状況

事務局：項目に関する説明。

秋吉議長：内容について意見等はないか。

委員：意見なし。

秋吉議長：「職員研修の状況」について、事前評価の点数に修正なく、3.8点とすることに異議はないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：それでは、原案どおり評価点を「3.8点」とする。

【給食運営面の総合評価】

事務局：項目に関する説明。

秋吉議長：内容について意見等ないか。

坂本委員：「人員配置や代替職員への対応については比較的低い評価となって」とあるが、その後どうするのかの記述がないため、「今後は、受託会社からのサポートを充実させ、」のところを「今後は、規定人数を確保させるとともに、受託会社からのサポートを充実させ、」としてはいかがか。「人員確保に努めるとともに」という表現でもいい。

事務局：仕様書では「パート人数は必要数」と記載しているので、「適切な人員配置を遵守させる」という表現で修正したいと思う。

坂本委員：了解した。

秋吉議長：「経験職員の不足」とあるが、そのような表現は小項目では出てきていないし、経験職員ばかり配置するのは難しいと思う。「経験職員の不足」ではなく、「新人職員の研修の不足」が問題ではないか。

事務局：おっしゃる通り。

中山委員：数の不足と育成の不足がある。

吉村委員：調理はある程度経験しないとなかなか難しい。やっとなることができるようになったと思ったらすぐ辞める方は多い。経験者は不足はしている。

中山委員：この報告書は受託会社には届くのか。

事務局：市のホームページに公開して見てもらうかたちをとっている。

中山委員：受託会社が見たら意外と点数が高いと思われるかも。ただ改善点の指摘など見てもらいたいところもある。

秋吉議長：「経験職員の不足」は、「新人の育成研修の不足」としてはどうか。

事務局：了解した。修正する。

秋吉議長：他に意見はないか。

委員：意見なし。

秋吉議長：「給食運営面の総合評価」は、原案どおり「標準的」とすることに異議はないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：それでは、原案どおり「標準的」と評価する。

4 学校との連携面について

(1) 学校行事等への協力

事務局：項目に関する説明。

秋吉議長：内容について意見等ないか。

委員：意見なし。

秋吉議長：「学校行事等への協力」について、事前評価の点数に修正なく、4.1点とすることに異議はないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：それでは、原案どおり評価点を「4.1点」とする。

(2) 学校や共同調理場との連携・協力

事務局：項目に関する説明。

秋吉議長：内容について意見等ないか。

坂本委員：「受け入れ」と「受入」の表記のぶれがあるので統一したほうがいい。

事務局：適切な表記を確認して統一します。

中山委員：「ナイストライの受入れ」が12ページでは「学校行事等への協力」に分類されているが、13ページでは「学校や共同調理場との連携・協力」に分類してある。修正が必要。ナイストライは人を育てる上での連携だと捉えたい。教育活動の一環だと考える。したがって、13ページの「○職場体験や現場実習生の受入れ等に協力的な対応がなされているか。」の項目を下の「≪学校や共同調理

場との連携が図られているか」に移動させた方がいい。

事務局：了解した。修正する。

坂本委員：ナイストライの表記も統一されていない。職場体験（ナイストライ）やナイストライ事業とか。ナイストライを知らない人もいるので私はナイストライ（職場体験）と使うことが多い。

坂本委員：表記を統一するか最初に職場体験（ナイストライ）としておけば、そのあとの表記はナイストライでもいいと思う。

事務局：どちらかの方法で表記を修正する。

秋吉議長：「学校や共同調理場との連携協力」について、事前評価の点数に修正なく、4.1点とすることに異議はないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：それでは、原案どおり評価点を「4.1点」とする。

【学校との連携面の総合評価】

事務局：項目に関する説明。

秋吉議長：内容について意見等ないか。

河原委員：項目の整理ができていない印象。文章の書きだしが、「学校や共同調理場との連携・協力について、」となっているが、内容は「学校行事等への協力」の項目に分類されているものなのでちぐはぐになっている。

中山委員：大きな分類の表現にしてはどうか。冒頭の「学校や共同調理場との連携・協力について、」を「学校との連携面について」に変更してはどうか。

事務局：「学校との連携面について」は上にタイトルとして書いてあるので、「学校や共同調理場との連携・協力について、」を単純に削除するという修正でもいいかと思う。事務局で調整し、修正する。

秋吉議長：「学校との連携面の総合評価」は、原案どおり「良好」とすることに異議はないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：それでは、原案どおり「良好」と評価する。

5 まとめ

事務局：まとめに関する説明。

秋吉議長：まとめの部分で何か意見等ないか。

秋吉議長：各項目ごとの評価の中で表記の修正があったので、その表現に合わせた方がいい。

事務局：了解した。修正する。

秋吉議長：まとめについては「良好」とするということで異議はないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：それでは、まとめについては「良好」と評価する。
項目ごとの評価については以上になる。

事務局：最終案は、委員長と事務局で調整させていただきたい。
評価報告書については、委員長と調整後に教育長へ答申させていただく。
また、本日で会議が最後となることから、会議録も委員長と事務局で調整させていただきたいが、いかがか。

秋吉議長：只今の事務局説明に関して意見等ないか。

委員：異議なし。

秋吉議長：他に意見等ないか。なければ議題3に移る。

【議題3 令和8年度学校給食について】

事務局：(令和8年度学校給食における献立と給食費無償化についての説明)

秋吉議長：なにか意見質問等ないか。

委員：意見なし。

秋吉議長：ないのであれば議事を終了する。
本日予定していた議事については以上である。

これをもって、第5回学校給食運営協議会を終了する。